



SDGs “持続可能な養老のまちづくり” 生活と環境を考える会 結成20周年記念の会

1月13日(木)に町中央公民館にて、生活と環境を考える会 結成20周年記念の会を開催しました。結成後20年間の活動報告を行った後、ボカシについて特集したYoroちっくを視聴しました。また、健康で楽しく活動していけるように身体を動かす健康指導や、エコかるたに取り組みました。



発足と現在までの経過について

平成13年10月に「町長と語る会」でゴミ問題を考える学習会が開かれました。その中で、ダイオキシン規制法の施行により可燃物の処理可能量が限界に達しようとしているとの説明がありました。早急な住民努力が必要との声もあり、「生活と環境を考える会」を立ち上げることとなりました。

平成14年4月に「生ごみゼロ」を推進するために「生活と環境を考える会」が発足しました。EM(有機微生物群)ボカシを使用して生ごみを堆肥化し、有機肥料として利用することで循環型社会を目指しました。

現在、274人の会員が所属し、町内の20地区で年4回EMボカシ(EMはさまざまな汚れや腐敗をきれいにする働きを持ち、生ごみの分解や水の浄化の作用があります)を作っています。また、生ごみはほとんどが水分なので、燃えるごみとして出す場合には水分をよく切ることでごみ処理にかかる経費が節約できることを呼びかけています。こういった活動を続けることで「生ごみゼロ」や「ごみ処理にかかる経費削減」を推進しています。

コロナウイルス感染拡大の影響により一斉クリーン活動などの活動は中止となっていますが、例年、揖斐川や牧田川流域などの清掃に汗を流しています。併せて、町内の河川調査、水質検査を行い、国や県の機関へ報告しています。

また、生活と環境を考える会では、家庭で使用した植物性油の廃油を回収しています。今までに3,402リットル回収し、770リットル分をげんちゃんEMせっけんに、2,632リットルをバイオディーゼル燃料に再利用しました。皆さまぜひ、お近くの会員にお声かけいただき、回収にご協力ください。

一人ひとりの力は小さくても、みんなで取り組みれば大きな力となります。家庭ごみの減量や美しい自然を守る活動をしませんか。一緒に活動していただける会員の募集もしています。



☎生活と環境を考える会 ☎32-2386
住民環境課 ☎32-1104



資源分別回収事業の団体募集について

町では、ごみの減量化・資源の有効利用ならびに、ごみ問題に対する意識の高揚を図ることを目的とし、再生可能な資源を分別回収し、資源化事業を実施する各種団体に対して助成金を交付しています。

つきましては、令和4年度に資源分別回収事業を実施する団体を募集します。対象団体は、町民で組織する営利を目的としない団体で、事前登録が必要となります。

令和4年度中に2回以上資源回収を実施する各種団体に対して、(6円/kg)を助成します。

●資源回収の対象品目

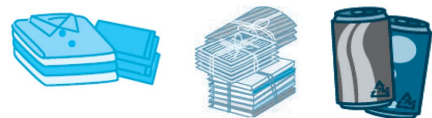
- ・紙類(新聞紙、雑誌・雑紙※、段ボール、牛乳パックなど)
- ・布類(古布、布切れなど)
- ・金属類(アルミ缶、スチール缶など)
- ・ペットボトル類(キャップ、ラベル除く)
- ・その他リサイクル可能なもの

※一部資源回収の対象外のものがあります。

資源回収の対象外の紙類は「燃やせるごみ」として出してください。

<資源回収の対象外の紙類>

金銀紙、金銀の印刷のある紙、著しく汚れた紙類、写真、シール類・紙コップなどのワックス加工紙、ラミネート紙、カーボン紙 など



—ごみを正しく分別すればリサイクルされ、再び資源として生まれ変わります—

☎住民環境課 ☎32-1104